

科目名	スポーツ実習 1							年度	2026
英語科目名	Sports Course 1							学期	通年
学科・学年	コンサート・イベント科 1 年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	山本璃空	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 この科目では、知識・技術の習得と共に、集団生活により他者との円滑なコミュニケーション能力の向上にも努めるものとする。様々なスポーツに挑戦する事で身体能力の向上をはかる。またスポーツにおける集団行動から円滑な人間関係の構築に役立てるスキルの習得にも努めるものとする。									
【科目の概要】 レクリエーションも兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ単位で実施します。									
【到達目標】 自ら積極的にスポーツやレクリエーションに参加する事により、チームワークやコミュニケーションの大切さを学ぶ。また、健康の大切さを認識し日々の健康管理に努める。自己管理を通じて社会人として健康に活躍できる人間形成を目標とする。									
【授業の注意点】 健康とコミュニケーションを重視し人間形成に役立てる。規律を重んじ私語や態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。健康を意識し健全な肉体と健全な精神で日々活躍できるよう心掛ける。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	積極的に運動に参加し、チームメイトとの親睦を深めている□		とりあえず運動に参加し、チームに参加している		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	運動による健康への影響を理解し、積極的に協議に参加している		健康云々は特に気に留めてはいないが、チームに参加している		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	レクリエーションを企画するにあたり、参加者も企画者も楽しめる内容を心掛けることができている		先陣を切って作業をするわけではないが、チームに参加して作業を手伝っている		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 特になし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 参加状況を見て評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

